南国市くらしのガイド広告掲載基準

■ 広告の掲載の内容は、法令等に違反し、又は抵触するおそれがなく、公益上支障がないものとし、かつ、次に掲げる事項に該当しないものとする。

- (1) 公的な刊行物としての公共性及び品位を損なうおそれのあるもの
- (2) 政治活動及び宗教活動に関するもの
- (3) 社会問題についての意見広告、個人的宣伝、売名行為及びこれらに類する内容に係るもの
- (4) 誇大表示、不当表示その他表現方法が不適切であるもの
- (5) 消費者保護の観点からふさわしくないもの
- (6) 青少年の健全育成に反し、又はそのおそれのあるもの
- (7) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に規定する営業に該当するもの
- (8) 貸金業法（昭和58年法律第32号）第2条第1項に規定する貸金業に該当するもの
- (9) 市又は他の地方公共団体が広告の掲載の事業者、製品及び商品サービス等を推奨しているとの誤解を招くおそれのあるもの
- (10) 前各号に掲げるもののほか、掲載する広告の内容が公序良俗に反し、又はそのおそれがあり、公的な刊行物にふさわしくないと認められるもの